

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月08日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	169	いきいきクラブ活動補助事業						
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業	生きがい・働きがい							
	主管課名		長寿介護課		課長名	深谷 文雄					
	この事務事業の開始時期		平成19(1997)年4月		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市いきいきクラブ活動等補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	いきいきクラブ活動等により一層の活性化を図り、高齢者の生きがい又は健康づくりを推進することにより、高齢者の生活意欲の向上又は介護予防に資するとともに、明るい長寿社会の実現及び保健福祉の向上を図ることを目的に、いきいきクラブみよし連合会の事業に対して、補助金を交付する。 【SDGsの取組：3】				いきいきクラブが実施する社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費を対象に補助し地域のいきいきクラブの活動を活性化させる。						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市内いきいきクラブの連携と会員相互の親睦を図ることを目的に、社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費に対して補助した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	働く意欲のある高齢者が増加することが予測され、加入率が低下する可能性がある。			名称		単位					
				① 地区いきいきクラブ数	クラブ						
				② いきいきクラブ会員数	人						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内の高齢者				名称		単位					
				① 高齢者人口	人						
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
いきいきクラブが実施する活動に参加する高齢者の増加				名称		単位					
				① いきいきクラブ加入率	%						
				②							
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
積極的に社会参加し、健康で生きがいのある生活を送ってもらう。				名称		単位					
				① 生きがい・働きがいの取組の満足度割合	%						
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値		
(1)の活動指標		① クラブ	21	21	21	21	21	21	21		
		② 人	3,021	3,416	2,879	3,471	3,520	3,515	3,573		
(2)の対象指標		① 人	11,208	11,387	11,325	11,455	11,650	11,845	12,040		
		②									
(3)の成果指標		① %	26.9	30	25.4	30	30	30	30		
		②									
(4)の結果の成果指標		① %	76	77.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5		
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	03	項	01	目	06
コスト		年度	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	6,096	6,511	5,126	6,511	6,231	6,231	6,231		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	777	896	746	756	756	756	756		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,319	5,615	4,380	5,755	5,475	5,475	5,475		
人件費 B		千円	926.3	926.3	926.3	926.3	926.3	926.3	926.3		
正職員従事時間×人数		時間×人	83×3	83×3	83×3	83×3	83×3	83×3	83×3		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト A+B+C		千円	7,022.3	7,437.3	6,052.3	7,437.3	7,157.3	7,157.3	7,157.3		
単位あたりコスト		① 千円/人	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	No.	169	いきいきクラブ活動補助事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	いきいきクラブの活動の活性化のために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	いきいきクラブ活動を助成する対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	いきいきクラブ活動を助成する目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		いきいきクラブが高齢者の見守り活動等の友愛活動に実施することにより、成果が向上できる。
	目的達成状況	内容		地域のいきいきクラブの活動を活発化させる。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 補助金を交付する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		事業を統廃合することにより、成果の向上させることができない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容		現状の活動内容を維持するために、事業費を削減することはできない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	いきいきクラブ連合会より友愛活動等の福祉事業の充実化に伴う補助金の増額の要望がある。	対応策	友愛活動の実績等に基づき、行政改革アクションプランに位置付けしている、補助金の見直しの際に検討をする。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	補助事業の対象経費に対して補助金を交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 いきいきクラブの活動を支援するため今後も継続して補助する。 今後のいきいきクラブの活動事業において、福祉事業として友愛活動を実施していく。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	170	高齢者いきいき活動ポイント事業						
	この事務事業 の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち						
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう						
			基本事業		生きがい・働きがい						
	主管課名		長寿介護課		課長名	深谷 文雄					
	この事務事業の開始時期		平成29(2017)年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市高齢者いきいき活動ポイント事業実施要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	ボランティア登録をした65歳以上の高齢者が、市から指定を受けた施設等で行った活動に対して、実績に応じたポイントを付与し、活動により貯めたポイントを現金などのに交換して交付する。 【SDGsの取組：3】				高齢化が進行する中で、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる仕組みづくりが求められている。元気な高齢者による地域でのボランティア活動への支援が重要であり、併せて高齢者の地域の居場所づくりが必要となる。						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				活動希望者を応募し、登録後に受入機関である介護施設等と活動内容のマッチングを行い、話し相手や配膳の補助等の活動を実施。活動により貯めたポイントを現金に交換して交付した。 新型コロナウイルスの影響により活動者が少なかった。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	現状のまま継続して実施していく				名称		単位				
					① 介護施設等で活動した高齢者の人数		人				
					②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
①市内在住の高齢者 ②活動の場となる施設					名称		単位				
					① 市内在住の高齢者人数		人				
					② 市内の介護施設数		か所				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
①高齢者が生きがいややりがいを持って生活する ②地域住民と接する機会を持つ					名称		単位				
					① 登録した高齢者の人数		人				
					② 指定した受入施設数		か所				
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
積極的に社会参加し、健康で生きがいのある生活を送ってもらう					名称		単位				
					① 生きがい・働きがいの取組の満足度割合		%				
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値		
(1)の 活動指標		① 人	4	7	2	8	9	9	9		
		②									
(2)の 対象指標		① 人	11,208	11,387	11,325	11,455	11,650	11,845	12,040		
		② か所	21	22	18	22	22	22	22		
(3)の 成果指標		① 人	10	14	11	15	16	16	16		
		② か所	2	4	2	5	6	6	6		
(4)の結果の 成果指標		① %	76	77.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5		
		②									
予算費目		会計	01 一般会計			款	03	項	01	目	06
コスト		年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A		単位	20	55	15	55	0	0	0		
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0		
	その他		千円	1	4	1	4	0	0		
	一般財源		千円	19	51	14	51	0	0		
人件費 B		千円	558	558	558	558	558	558	558		
正職員従事時間×人数		時間×人	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2	75×2		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト A+B+C		千円	578	613	573	613	558	558	558		
単位あたりコスト		① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0	0		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/か所	27.5	27.9	31.8	27.9	25.4	25.4	25.4		

事務事業名	No.	170	高齢者いきいき活動ポイント事業
-------	-----	-----	-----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない	理由	登録している高齢者数が少ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象者は高齢者であり、見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者が生きがいややりがいを持って生活するという目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	対象者と対象施設に、事業の内容の周知を徹底する。	
	目的達成状況	内容	登録をした高齢者が、市から指定を受けた施設等で行った活動し、活動により貯めたポイントを現金と交換する。	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 現金と交換なので、市が直営で行う。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	事業の実績は増やしたいため、費用の削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	活動受入機関の確保が必要	対応策	介護事業所への周知を図る。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	登録した高齢者が活動を実施。活動により貯めたポイントを現金に交換して交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 介護施設で活動する高齢者を増やすことで、高齢者の介護予防等につながることから、今後も継続して事業を行う。 令和5(2023)年度から地域介護予防活動支援事業と統合する。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	171	シルバー人材センター補助事業							
	この事務事業の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業		生きがい・働きがい							
	主管課名		長寿介護課		課長名	深谷 文雄						
	この事務事業の開始時期		昭和63(1988)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		公益社団法人みよし市シルバー人材センター補助金交付要綱									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	「自主、自立」「共働、共助」の理念に基づき、豊かな経験と技術を持つ高齢者に対し、安全で働きやすい就業の場を提供することにより、健やかでいきいきとした老後の生活の維持を図ることを目的に、シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付している。 【SDGsの取組：3】				高齢者の豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献してもらうためにも必要である。							
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓、広報活動の強化、会員の研修と福利事業、安全就業の推進などの高齢者の生きがい事業を補助するために、補助金を交付した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	退職の年齢が延長している			名称		単位						
				①	シルバー人材センター数	か所						
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
シルバー人材センターの会員				名称		単位						
				①	シルバー人材センター会員数	人						
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
シルバー人材センターの運営が適正になされる				名称		単位						
				①	シルバー人材センターの受託件数	件						
				②								
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
生きがいのある充実した生活を送ってもらう				名称		単位						
				①	生きがい・働きがいの取組の満足度割合	%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値			
(1)の活動指標		① か所	1	1	1	1	1	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① 人	389	390	354	360	360	360	360			
		②										
(3)の成果指標		① 件	2,112	2,120	1,957	1,970	1,980	1,990	2,000			
		②										
(4)の結果の成果指標		① %	76	77.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト		年度	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	44,627	46,380	39,992	43,343	44,641	47,723	47,146			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	44,627	46,380	39,992	43,343	44,641	47,723	47,146		
人件費 B		千円	744	744	744	744	744	744	744			
正職員従事時間×人数		時間×人	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	45,371	47,124	40,736	44,087	45,385	48,467	47,890			
単位あたりコスト ①		千円/人	116.6	120.8	115.1	122.5	126.1	134.6	133			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	171	シルバー人材センター補助事業
-------	-----	-----	----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るため、対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	シルバー人材センターの会員数が増加することにより、高齢者の生きがい・働きがいにつながる。	
	目的達成状況	内容	概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営補助金	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	シルバー人材センターの適正な運営のために削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	退職年齢の引上げ等により、会員の確保が難しい状況にある。	対応策	会員の確保につながるよう、シルバー人材センターに啓発の強化を依頼する。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	シルバー人材センターが行う高齢者生きがい事業に補助金を交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 高齢者の生きがい・働きがいを確保するためにも、シルバー人材センターの適正な運営が必要であることから、今後も継続して補助していく。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	172	高齢者生きがいセンター運営管理事業							
	この事務事業 の位置	政策	健康で生き生きと暮らせるまち								
		施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう								
		基本事業	生きがい・働きがい								
	主管課名	長寿介護課			課長名	深谷 文雄					
	この事務事業の開始時期	平成16(2004)年度			事務区分	□法定受託事務 ■自治事務					
	この事務事業の根拠法令	みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の設置及び管理条例									
	事業の概要	現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由									
	指定管理制度の導入に伴い、みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の指定管理者は、公益社団法人みよし市シルバー人材センターが選定され、基本協定、年度協定を締結した。この協定に基づき、運営管理されている。 指定管理期間 平成31(2019)年4月1日から令和6(2024)年3月31日までの5年間 【SDGsの取組：3】	高齢者の豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や福祉の増進を促進する拠点として施設管理及び運営面の充実を図る。									
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等	生きがいセンター「太陽の家」の施設管理を、指定管理者である社団法人みよし市シルバー人材センターが行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。			名称		単位					
				①	生きがいセンター利用者数		人				
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 生きがいセンター「太陽の家」				(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
				名称		単位					
				①	生きがいセンター「太陽の家」施設数		か所				
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 生きがいセンターの運営が適正になされる				(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
				名称		単位					
				①	生きがいセンター利用者数		人				
				②							
結果(上位基本事業の意図) 生きがいのある充実した生活を送ってもらう				(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
				名称		単位					
				①	生きがい・働きがいの取組の満足度割合		%				
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	5,534	5,400	5,309	5,400	5,500	5,600	5,700			
	②										
(2)の 対象指標	① か所	3	3	3	3	3	3	3			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	5,534	5,400	5,309	5,400	5,500	5,600	5,700			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	76	77.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.5			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	5,069	4,943	4,870	13,818	5,070	6,347	5,325			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	25	25	34	29	29	29			
	一般財源	千円	5,044	4,918	4,836	13,789	5,041	6,318	5,296		
人件費B	千円	0	744	744	930	930	930	930			
正職員従事時間×人数	時間×人	100×0	100×2	100×2	125×2	125×2	125×2	125×2			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	5,069	5,687	5,614	14,748	6,000	7,277	6,255			
単位あたりコスト	① 千円/か所	1,689.7	1,895.7	1,871.3	4,916	2,000	2,425.7	2,085			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	172	高齢者生きがいセンター運営管理事業
-------	-----	-----	-------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員の生きがい・働きがいにつながっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員が対象のため、対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員の生きがい・働きがい目的のため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	シルバー人材センターの会員数が増加することにより、高齢者の生きがい・働きがいにつながる。	
	目的達成状況	内容	概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 みよし市シルバー人材センター	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	高齢者生きがいセンターの適正な運営のために削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	建築後、約30年が経過していることから、計画的な修繕が必要である。	対応策	施設の長寿命化を高齢者福祉施設個別施設計画に基づき実施する。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	生きがいセンター「太陽の家」の施設管理を、指定管理者である社団法人みよし市シルバー人材センターが行った。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容施設管理及び運営面の充実を図るため、継続して事業を実施する。		
コストの方向性			↓ 減少		
成果の方向性			→ 維持		